

ブルージュ国際古楽コンクール優勝! ガーディナー、ブリュッヘン、ホグウッドら名指揮者の信頼も厚い。

# クリスティアン・ベザイデンホウト

## フォルテピアノ・リサイタル



ソナタ 第16(15)番 ハ長調 K.545「初心者のための」  
デュポールのメヌエットによる9つの変奏曲 二長調 K.573  
ソナタ 第18(17)番 二長調 K.576  
独奏鍵盤楽器のための組曲 ハ長調 K.399より  
アルマンドとクーラント、サラバント短調(補筆完成:ロバートレヴィン)  
メヌエット 二長調 K.355/小さなジグト長調 K.574  
ソナタ 第9(8)番 イ短調 K.310

(注) 新モーツァルト全集のソナタ番号を使用、( )内は旧来の番号。



### ? フォルテピアノ 知って欲しい、あんなこと、こんなこと (簡単クイズ形式)

Q: モーツァルトのオペラは好きですか。そのオペラで使用するコンティヌオ楽器は何だと思えますか。チェンバロそれともフォルテピアノ?

A: あなたの答えは、チェンバロですか。オペラ好きならたくさんCDをお持ちでしょう。そのほとんどがチェンバロですね。では、モーツァルトが生きていた時代を想像してみてください。自らオペラを指揮したときは…? おそらくモーツァルトは、フォルテピアノでコンティヌオを弾きながら、指揮をしたのではないのでしょうか。近年は、ピリオド楽器(古楽器)でのオペラ公演や録音は、フォルテピアノが使用されています。

Q: フルコンサートピアノのピッチは、A(ラの音)=440または442(Hz)が一般的です。では、モーツァルト時代のフォルテピアノは、いくつかご存知ですか。

A: 答えは、A=430。現存するフォルテピアノや管楽器、さまざまな楽器などから明らかになっています。現在のフォルテピアノの製作家がワルター・モデルを復元製作してもA=430です。そこからピッチを少しでも上げたりすると、音色が変わってしまうほどデリケートな楽器です。

実は最近、おかしなことが起こっています。欧州のモダン楽器オーケストラが、モーツァルトのオペラを上演する際に、従来のチェンバロではなく、フォルテピアノを使用しはじめています。ええ、まさか!? モダン・オーケストラのピッチは(主に)A=442ですから、フォルテピアノと合いません。調べてみると、モダンピッチ仕様で製作した楽器が使われていました。中には、足ペダルが付いていたり、明らかにモーツァルト時代とは違う楽器を使用していたところもありました。

Q: 最後はちょっと難問。フォルテピアノの調律方法をご存知ですか。平均律、それとも?

A: クリスのCD第4集のブックレットには、Unequal temperament, A=430と記載されています。アンイコールとは、平均律にあらず…、です。  
では、どんな調律法(テンペラメント)なの? これは、専門的かつ演奏家のシークレット・ゾーン(?)なので、「平均律ではない」とだけ覚えておきましょう。

謎解きはコンサートの後で。実際にクリスの奏でる音の響きを、自由に愉しく味わってから解き明かしましょう。

10/24<sup>[木]</sup> 7:00p.m.開演  
津田ホール

JR千駄ヶ谷駅前  
Thursday, 24 October 2013, Tsuda Hall

全席指定: ¥6,000 **ペアシート: ¥10,000**  
[消費税込。ペア・シートの取扱いはアレグロミュージックのみ]

お申し込み・お問い合わせ:  
☎(03)5216-7131 **アレグロミュージック**

津田ホールチケットセンター(03)5355-1299  
電子チケットびあ(0570)02-9999  
東京文化会館チケットサービス(03)5685-0650  
ピティナ <http://www.piano.or.jp/concert/support/>

主催 ■ **アレグロミュージック** 協賛 ■ 津田ホール  
後援 ■ 一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会 / 財団法人 キングインターナショナル  
協力 ■ 梅岡楽器サービス



**ひびペダルはここ**

[コンサートで使用する楽器]  
フォルテピアノ Anton WALTER モデル(1800年頃)  
[製作者] PAUL McNULTY (フェコ) 2002年作  
Unequal temperament, A=430

※ 終演後、この楽器の所有者で調律師の梅岡俊彦氏による、簡単な楽器解説を予定しております。